

木材と水研究会 誌上講演（要旨集販売）のお知らせ

## 「大径材の利用拡大に向けた研究開発動向」

～ 木材と水の新しい関係の構築へ向けて ～

新型コロナウイルスの感染拡大により、残念ながら第70回日本木材学会大会(鳥取大会)が中止となり、同時開催の予定だった木材と水研究会講演会も中止とせざるを得ませんでした。そのため、2020年度中に改めて講演会を開催する機会をうかがっていましたが、2020年10月時点においても新型コロナウイルスの感染状況に大きな改善はみられず、いまだ予断を許さない状況です。このような状況を鑑み、大変残念ですが皆様に集まっていただく講演会という形での開催は中止とさせていただきますこといたしました。

しかしながら、本講演会のために講師の先生方にご用意いただいた内容は、蓄積が増えながら利用がなかなか進まない「国産針葉樹大径材」の活用において大きな課題となる、心去り材の製材後に生じる曲がり、また丸太内含水率分布の評価法に関する最新の研究成果であり、何らかの形で皆様のお手元に届けることが、講演会を企画した「木材と水研究会」の使命であろうと考えます。

そこで、本来は今年の3月に講師の先生方にご講演いただく予定であった原稿を要旨集として取りまとめ、皆様に提供させていただくことといたしました。

貴重な研究成果を皆様と共有させていただき、大径材の利用拡大にむけてどのような技術開発、研究が求められるのか、思索を深める機会としていただければ幸いです。

2020年12月

日本木材学会 木材と水研究会幹事 一同

後援：公益社団法人 日本木材加工技術協会  
内容：

1. 「製材時の曲がりと樹木の成長応力」 名古屋大学大学院生命農学研究科 山本浩之氏

2. 「大径材の利用拡大に向けて ～人工乾燥工程での心去り材の曲がり矯正～」  
岐阜県森林研究所 土肥基生氏

3. 「大径材の利用拡大に向けて ～木材の丸太段階での新しい含水率評価方法の開発～」  
マイクロメジャー（株） 杉山晃広氏

4. 「大径材利用のための含水率の非破壊評価法の現状と課題」  
静岡県森林・林業研究センター 池田潔彦氏

販売金額：2,000円(送料込み)

(※)振込手数料は購入者負担でお願いいたします

申込み：(1)氏名、(2)所属、(3)要旨集送付先(住所と宛先)、(4)必要部数を記載して、メールでお申し込みください。

いただいた送付先へ代金の振込先(請求書)とともに郵送いたします。

郵送開始：12月中

申込先：森林総合研究所 木材加工・特性研究領域 木材乾燥研究室 鳥羽景介

E-mail： [mokumizu2020@ml.affrc.go.jp](mailto:mokumizu2020@ml.affrc.go.jp)

問い合わせ先：森林総合研究所 四国支所 小林功

E-mail： [mokumizu2020@ml.affrc.go.jp](mailto:mokumizu2020@ml.affrc.go.jp) (Tel.088-844-1121 (代表))